蔵の郷土館

齋理屋敷 開館30周年

皆さまに愛され続け、おかげさまで
30周年を迎えました。

平成30年7月1日(日)

時間 9:30 ～17:00　入館無料

場所 丸森町齋理屋敷とその周辺にて

アクセス
・仙台より車で国道4号、槻木より国道349号利用：約1時間30分
・福島より車で国道4号経由、国道349号利用：約1時間　※詳しくは裏面をご覧ください。

イベント内容

- 齋理30周年のあゆみ写真展
- 沼崎しゅういちコンサート
- 保科毅絵画展「阿武隈急行の四季」
- TBCラジオ丸森特番公開生放送
- 子供向け催し（ミニSL乗車・スタンプラリー）
- 国際交流ブース
- 物販ブース（飲食ほか数店舗）

特別出店　kazunori ikeda individuel

蔵の郷土館

齋理屋敷開館30周年

江戸時代後期から昭和初期にかけて、呉服・太物の商売に始まり縫製業、味噌・醤油の醸造など幅広い事業を展開し、
七代にわたり栄えた豪商、齋藤理助氏。その屋敷および収蔵品すべてを町が寄贈を受け、「蔵の郷土館」として開館したのが齋理屋敷です。
皆さまに愛され続け、おかげさまで開館30周年を迎えました。

開催内容

入館無料

日時 平成30年7月1日（日）
9：30～17：00

場所 丸森町齋理屋敷とその周辺にて

イベント

- 記念式典
- 齋理30周年のあゆみ写真展
- 沼崎しゅういちコンサート
- 保科毅絵画展「阿武隈急行の四季」
- TBCラジオ丸森特番公開生放送
- 子供向け催し（ミニSL乗車・スタンプラリー）
- 国際交流ブース
- 物販ブース（飲食ほか数店舗）

特別出店　kazunori ikeda individuel

沼崎しゅういち【齋理屋敷のある町 / 親子情歌】

宮城県丸森町出身の作曲家、歌手。作家活動を通し多くのアーティストを育成するシンガー・ソングライター。2013年にリリースされたデビューシングル「齋理屋敷のある町」は爽やかで軽快なテンポのメロディーに乗せて、復興と町興しの願いを込めた地元・宮城県を舞台とする旅情歌。(C)RS

タイムスケジュール（雨天の場合変更あり）

9:30	開門
9:40	開館記念セレモニー 町長あいさつ／来賓祝辞 100万人入館者記念品贈呈
10:40～11:50	沼崎しゅういちコンサート（1回目）
12:00～14:30	TBCラジオ丸森特番公開生放送 「おいしい！たのしい！蔵の齋理とまるごと丸森」
14:40～16:30	沼崎しゅういちコンサート（2回目）
終日開催 10:00～17:00	齋理30周年のあゆみ写真展（居宅） 保科毅絵画展「阿武隈急行の四季」（新館） 物販ブース（齋理屋敷内・八雄館前） 子供向け催し（ミニSL乗車・スタンプラリー） 国際交流ブース

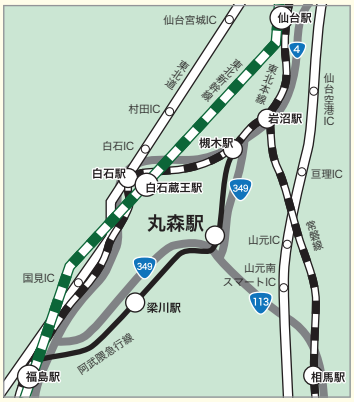
ご来場について 当日は混雑が予想されますので、丸森駅からるんるん号またはシャトルタクシーをご利用ください。

齋理屋敷のあゆみ

昭和61年3月	齋藤家七代目当主齋藤理助氏から蔵や屋敷、収蔵品の寄附を丸森町が受ける。 ～調査・建物の改修～
昭和63年7月	「蔵の郷土館齋理屋敷」として開館 開館30日目に入場者数1万人を突破
昭和63年11月	入館者数5万人を突破
平成元年4月	財団法人阿武隈ライン保勝会 （現：丸森町観光物産振興公社）が管理委託
平成元年7月	入館者数10万人を突破
平成3年2月	入館者数20万人を突破
平成4年10月	入館者数30万人を突破
平成10年1月	入館者数50万人を突破
平成10年7月	リニューアルオープン（第2期開館）
平成17年10月	入館者数80万人を突破
平成18年4月	財団法人阿武隈ライン保勝会 （現：丸森町観光物産振興公社）が指定管理
平成23年1月	国の登録有形文化財に登録
平成30年6月	入館者数100万人を突破

年3回の企画展「端午の節句」「齋理の歳迎え」「齋理の雛まつり」はじめ、1年中様々な特別企画展が行われています。8月上旬には、齋理屋敷と周辺の通り一体を会場とした夏の風物詩「齋理幻夜」が行われ、約1,000基ある絵とうろうの幻想的な灯がまつりを盛り上げます。

アクセス



・仙台より車で国道4号、槻木より国道349号利用：約1時間30分
・福島より車で国道4号経由、国道349号利用：約1時間

主催：丸森町・蔵の郷土館 齋理屋敷

お問合わせ：丸森町商工観光課　☎0224(72)3017
〒宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120（受付時間／土日祝以外の8：30～17：15）